

- 問1 19世紀、イギリスはインドを介して清（中国）と貿易を行う「三角貿易」の体制を築きました。イギリスからインドへは綿織物が、インドから清へはアヘンが、清からイギリスへは茶や絹がそれぞれ輸出されていましたが、これらの一連の取引において、代金の決済手段として清から流出し、最終的にイギリスへ渡っていたものは何か、次の中から選びなさい。（2020年 北海道公立入試 類似）
1. 銀 2. 銅 3. 金 4. 香辛料
- 問2 19世紀半ばのアメリカ合衆国では、北部と南部の間で対立が深まり、南北戦争が勃発しました。この対立のうち、当時の「南部」の主張や状況を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 綿花の輸出を促進し、イギリスなどから安価な工業製品を輸入するために自由貿易を求めた。 2. 連邦政府の権限を強めることで、国家の一体性を維持しようとする中央集権的な考えを持っていた。 3. 人道的立場や工業における労働力確保の観点から、奴隷制の廃止を強く主張した。 4. 自国の工業製品を外国の競争から守るため、輸入品に関税をかける保護貿易を求めた。
- 問3 イギリスが清に対してアヘン戦争を仕掛ける背景となった、当時の貿易状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 清がイギリスとの自由貿易を求めて開国を迫ったのに対し、自国産業を保護したいイギリスが拒否して開戦した。 2. イギリスが自国の工業製品を清に売るため、清の特産品であったアヘンの輸入を禁止しようとした。 3. 清がイギリスから綿織物を大量に輸入したため、貿易赤字に苦しんだイギリスが武力で市場を広げようとした。 4. イギリスが輸入する茶の代金として支払う銀が不足し、その回収のためにアヘンを密輸した。
- 問4 倒幕運動が激化する過程で、それまで対立関係にあった薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬らの仲立ちによって結んだ協力関係のことを何と言いますか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 日英同盟 2. 薩長同盟 3. 日米和親条約 4. 尊王攘夷運動
- 問5 南北戦争が始まる前の時期における、アメリカ北部の主張や状況として正しいものはどれですか。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 自国の工業を発展させるために保護貿易を主張し、奴隷制には反対していた 2. 綿花を輸出するために自由貿易を主張し、奴隷制の維持を求めている 3. 金本位制の導入をめぐって、西部の農民と激しく対立していた 4. イギリスからの独立を勝ち取るために、フランスと軍事同盟を結んでいた
- 問6 1837年、日本人漂流民の帰還と通商を求めて来航したアメリカの商船を、幕府が「異国船打払令」に基づいて砲撃したモリソン号事件が起きました。この幕府の対応を批判し、後に「蚕社の獄」と呼ばれる弾圧を受けた蘭学者の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
1. 高野長英・渡辺崋山 2. 杉田玄白・前野良沢 3. 本多利明・佐藤信淵 4. 緒方洪庵・福澤諭吉
- 問7 1853年、アメリカ東インド艦隊の司令長官として4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に来航し、江戸幕府に対して正式に開国を要求した人物は誰ですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
1. オールコック 2. ハリス 3. マッカーサー 4. ペリー
- 問8 明治政府が長年取り組んだ「条約改正」の大きな目的は、幕末に結ばれた不平等条約の内容を改めることでした。このうち、「関税自主権がない」ことによって日本が受けた経済的な影響について、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することができなかった。 2. 日本で商売を行う外国人に対して、日本政府が所得税などの直接税を課すことが禁止された。 3. 外国から軍艦や機械を購入する際、相手国から多額の賠償金を請求されることになった。 4. 海外へ日本の製品を輸出する際、相手国から不当に高い関税をかけられ、貿易赤字が拡大した。
- 問9 1854年に江戸幕府がアメリカと締結した日米和親条約の内容について、その特徴や背景を正しく説明しているものを選びなさい。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 鎖国を終結させ、アメリカ船に対して薪水や食料などの補給を認めたが、貿易を許可する条項は含まれていなかった。 2. アメリカに領事裁判権を認め、日本側に修正の権利がない関税自主権の欠如といった、不平等な貿易条件を定めた。 3. 長崎、横浜、新潟、兵庫などの港を新たに開くことで、アメリカとの自由な民間貿易を全面的に開始した。 4. アメリカ大統領の国書を受け取った幕府が、朝廷から条約締結の許可である「勅許」を得た上で正式に調印した。
- 問10 幕末の貿易統計によると、1865年の輸出総額のうち約8割を生糸が占めるほど輸出が急増していました。このように特定の品目の輸出が短期間に激増したことが、当時の日本国内の経済に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）
1. 綿糸の輸出も同時に増えたため、綿織物業が急速に発展した 2. 国内で生糸が品不足となり、物価が激しく上昇した 3. 海外から安価な生糸が大量に流入し、養蚕農家が大きな打撃を受けた 4. 生糸が大量に売れ残ったため、国内の物価が急落した
- 問11 幕末の開国に関して、ペリー来航翌年の1854年に結ばれた条約名と、その条約によって開港が決定された北海道の都市の組み合わせとして正しいものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
1. 日米修好通商条約 ― 小樽市 2. 日米和親条約 ― 小樽市 3. 日米修好通商条約 ― 函館市 4. 日米和親条約 ― 函館市
- 問12 幕末の開国に伴い、産業革命を経たイギリスから安価な綿織物が大量に輸入されるようになったことで、日本国内の経済や社会にどのような影響を与えましたか。その理由や背景を含めて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. アメリカ合衆国が国内の南北戦争により輸出を停止したため、日本国内では一時的に綿織物が不足し、物価の安定に寄与した。 2. 通商条約によって関税が日本側に有利に設定されていたため、安価な輸入品の増加が国内産業の近代化を促す好機となった。 3. 機械生産による安価な製品が流入したことで、手作業に頼っていた日本国内の綿作や綿織物業などの伝統的な産業が大きな打撃を受けた。 4. イギリス産の綿織物が高級品として普及したため、対抗して国内の綿花生産者が大幅に増産を行い、輸出額が急増した。
- 問13 19世紀前半、江戸幕府は日本の沿岸に近づく外国船を無差別に追い返す「異国船打払令」を出していましたが、1842年には方針を転換し、薪や水、食料を与えて帰帆させる「薪水給与令」を出しました。幕府がこのような方針転換を行う直接的な背景となった、清がイギリスに敗北した出来事を選択肢から選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. アヘン戦争 2. 日清戦争 3. 辛亥革命 4. 矢面事件（アロー戦争）